

ぶろっさむ -らいと-

no.10

1, 教祖のひながたを学ぼう

女子青年アンケート結果

2, step by step

3, ちょこつとぎやらりい。

あさひじょしせいねん

●教祖のひながたを学ぼう●

女子青年逸話篇アンケート

皆さん、回答ありがとうございました★
今月はアンケート2位の逸話篇をご紹介します(^▽^)/

好きな逸話篇 2位

「29. 三つの宝」

ある時、教祖は、飯降伊蔵に向かって、
「伊蔵さん、掌を拵けてごらん。」
と、仰せられた。



伊蔵が、仰せ通りに掌を拵げると、教祖は、粃を三粒持って、
「これは朝起き、これは正直、これは働きやで。」
と、仰せられて、一粒ずつ、伊蔵の掌の上にお載せ下されて、
「この三つを、しっかり握って、失わんようにせにやいかんで。」
と、仰せられた。
伊蔵は、生涯この教を守って通ったのである。

皆さんの声

😊 「朝起き、正直、働き、大切にしていきたいです。」
「覚えやすく、わかりやすいです。」
「本当に3つとも大事なことだと感じました。」



次回は3位の逸話篇を紹介します！

Step by step

asahijoshiseinen

本部教祖殿

教祖殿

神殿の北側にある緑色の屋根の建物が教祖殿で、昭和8年（1933年）に建てられました。一番奥の間を教祖殿、次の間を合殿、最も手前を御用場といいます。

教祖は明治20年陰暦正月26日、御年90才をもってお姿をおかくしになりました。姿は見えませんが、存命のまま、世界だすけにお働き下さり、日夜私たちを見守り、お導き下さっています。

現在教祖殿では、お姿を拝見できた時と同じように、毎日三度の食事のお給仕、お風呂、寝室に到るまで、係の方がお仕え下さっています。

をびや許し

「をびや許し」は妊婦さんに授けられる安産のお守りです。疑いの心を無くし、親神様に持たれてお産に臨むなら、どんな人も安産させて頂くことができます。妊娠6ヶ月目以降の女性本人、もしくは夫、夫婦の両親が代わって戴くことができます。お話を聞いた後、「をびやの御供」を戴きます。



おまもり

「おまもり」はおぢばに帰らせて頂いた証拠として下さるもので、証拠まもりとも呼ばれ、ご存命の教祖がお召しになった赤衣（赤い着物）を小さく裁ったものをお下げ頂きます。このおまもりを常に身に付けさせて頂きましょう。教祖がいつも一緒に側にいて下さり、お守り下さいます。

「をびや許し」「おまもり」は、教会に申し出て、作成して頂いた願書を持って御本部御守所に願い出て、教祖殿御用場にて戴くことができます。

ちょこっとぎやらりい。



カメラマン：sekisanphoto

みなさんこんにちは🌸ちょこっとぎやらりい。のお時間です^^
さあ、2月が終わり3月と春の季節になってまいりました♪
梅の花が御本部中庭で見頃を迎えていました。
私は梅の花に鼻が反応してしまいます。ムズムズ。。。
これから春に向けて御本部周辺でお花がどんどんと咲いていきます。
また季節のお便りをちょこっとちょこっとづつお送りできたら
なと編集者は楽しみにしています。
年度末皆様どうぞお身体大切に、またお会いしましょう！